

2008 年度

科目名	対象学科・学年 人間人社3回生	担当者
情報社会学 B		小坂 暢幸
授業テーマ 実社会で活躍しているコンピュータシステムを知り、社会に出てからも役立てる。		
授業の概要と目標 情報化社会と言われ、様々な情報処理機器や、パーソナルコンピュータが稼働している。又、インターネットやカード社会など、媒体もいろいろな形で存在している。 情報処理システムの役割や仕組みを知り、実社会に出て、役立つ講義内容とする。講師は、実社会のコンピュータ会社の経営者で、具体的なシステム内容や、ビジネスについて講義する。		
評価方法 出席率(70%)と、レポート提出(30%)		
テキスト 情報社会学 (Ⅱ)	著書 小坂 暢幸	出版社 (株)オーグビル・テクノロジー
参考書	著書	出版社
授業スケジュール・内容		
後 期		
16. 会社と経理業務	会社の資金の流れや、経理について知る。	
17. オフィス・オートメーション	OAの機器の内容と、仕組みを知る。	
18. 家庭におけるコンピュータ	電子レンジ等マイクロコンピュータを使った家庭の機器を知る。	
19. 学校・官庁システム	学校や官庁内の、コンピュータシステムを知る。	
20. 企業におけるコンピュータシステム	企業内で活躍する情報システムを知る。	
21. 税金と情報処理	税金の仕組みや、納税について学習する。	
22. 日程計画	スケジュールの仕組み、コンピュータによる日程算出について知る。	
23. 工場システム	生産管理など、工場で稼働するコンピュータの、仕組みを知る。	
24. CAD/CAM/CG	コンピュータを使用したデザインや、映画製作のコンピュータ化を知る。	
25. 人工知能/ロボット	エキスパートシステム等、人間とコンピュータやロボットについて考える。	
26. 情報とセキュリティ	暗号、パスワードなど、セキュリティについて学習する。	
27. コンピュータ犯罪	コンピュータ犯罪小説を読み、犯罪のしくみを考える。	
28. 情報と法制度	著作権や、ソフトウェアのコピー等、法律面から追求する。	
29. インターネット	インターネットの仕組みや内容を知る。	
30. 情報処理と流れ図	情報の流れを記述するフローチャートを学習する。	